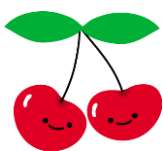


さくらんぼ



～やさしく・かしこく・たくましく～

NO. 3 平成30年6月26日発行
山口大学教育学部附属幼稚園
URL:<http://www.ymg-kg@yamaguchi-u.ac.jp>

今月は、保育参加・保育アシスタント、ピーマンJr.の会など、保護者の方々にお世話になりました。保育参加・保育アシスタントでは、お子さんが園でどのように過ごしているか新しい発見が多かったことと思います。また、ピーマンJr.の会では園庭の清掃をしていただき、園内がとてもきれいになりました。ご協力ありがとうございました。

「おうちのひとと一緒に嬉しいな」 ～風組初めての保育参加～



風組の保育参加は、子どもたちが新しい生活に慣れて、自分らしく過ごせるようになってきた頃（5月下旬）に始まりました。風組のお部屋が自分の場所になってきた子どもたちは、園庭を回りながら紹介したり、自分の遊びや気に入ったことをやって見せたり、一緒にままごとや砂場に夢中になったりしていました。中には、お家の方と一緒に嬉しくてべったりの姿もありましたが、その気持ちをしっかりと受け止めて付き合ってください嬉しく思いました。子どもたちも保護者の方を頼りにして、安心して過ごしていたように思います。

ミーティングでは保護者の皆様から様々な感想をいただきました。

「初めての保育参加なのに、『Aちゃんのお母さん、一緒に遊ぼう』と誘ってくれたり、片づけの場所を教えてください嬉しかった。」

「周りの子どもたちとも一緒に過ごしてみて、この子はこんな一面があるのだとか、いろいろな子どもの様子を知ることができた。」

「家では園のことはあまり話さないから心配していたが、お化け屋敷をしたり、せっけん泡で遊んだり、ワニワニごっこをしたり…たくさんの遊びをしていることに驚いた。」

「家での様子とは違い、友達に自分の思いを伝えようとしている姿が見られて嬉しかった。」

「花組のときより行動範囲が広がっていた。」

「上の子のときも経験があるが、きょうだいで全然違った。自分のかわり方も違って面白かった。」

など、初めてのお母さんや経験のあるお母さん方でいろいろな感想や悩み、体験談を出し合ってください、普段の様子も伝えながら、4歳児の発達の特徴や見通しを少しでも知ることができたかと思えます。

新年度から2ヶ月たち、風組は進級・新入児入り交じって遊び、楽しそうな場があると次々に子どもが加わるようになってきています。楽しそうなことはよく見て真似て自分の遊びに取り込んでいるようです。また、園に慣れて行動範囲が広がりつつある花組さんも、風組さんの様子を真似て遊ぼうとする姿が見られるようになってきています。

今後も保育者と保護者の方とが一緒になって、子どもたちの成長を前向きな気持ちで支えられるように力を合わせていきたいと思えます。ご協力よろしくお願ひ致します。（福田）



カレーの日までの星組の活躍 ～保育アシスタントに支えられて～

年中の2月に自分達が植えたジャガイモを6月13日に掘りに行きました。梅雨の雨で1週間延期したにもかかわらず、保育アシスタント7名中4名もお父さん方が参加してくださいました。5月に農場へ行った時にジャガイモの葉がモザイク病で弱っていて心配していましたが、野菜レンジャーさん（附属農場の技官）が試し掘りをされるとサイズは例年より少し小ぶりでしたが無事育っていました。お父さんお母さんがクワで土をほぐすと子どもたちがスコップや手で掘って探します。ジャガイモを掘る前に、野菜レンジャーさんから「ジャガイモでみんながカレーをつくるんだってね。たくさん掘れるといいね。」と声掛けもあり、みんな意欲的に取り組みます。大きいサイズが掘れると友達と見せ合って喜ぶ姿があり、「これ僕がもって帰りたい。」と言う友達に、「これはカレーにするんだよ。」と言う声が聞かれました。保育者が「少しずつはお家におみやげにできるよ。あとは幼稚園で料理してみんなで食べるから、見逃さないように全部探そう。」と声をかけました。子どもたちがおおよそ掘ったところをお父さん方がもう一度クワで掘り返すとまだまだ出てきます。お店では見ない形やとても小さなものまで沢山収穫できました。

翌日から掘ってきたジャガイモでの蒸し芋をつくりが始まります。たわしでジャガイモをきれいに洗う役や薪で火をおこす役、できた蒸し芋を半分に包丁で切る役も星組がします。火吹きだけでむせたり、火ばさみで薪を入れるのが煙たかったり、包丁が難しかったりしても粘り強く続ける姿がありました。この体験はそのままカレーづくりにつながります。

自分達でカレーづくりに挑戦するので、子どもたちもアシスタントのお母さん方も真剣です。どんな役割があるか、作業の仕方、包丁の使い方の方話をしっかり聞き、「自分ができそうな役割、したい役割をしますよ。」と保育者が投げかけて始まります。最初はニンジン切る場がいっぱいでしたが、玉ねぎの場やジャガイモを洗う場にもしだいに子どもたちが移ります。玉ねぎの皮むきに涙が出ているS子ちゃんに「がんばってるね」と保育者が声をかけると「玉ねぎやらないと玉ねぎなしカレーになっちゃうよ」と頼もしい返事が返ってきました。花組、風組に農場のジャガイモを使った手作りのカレーを届け、無事みんなでお食べられ

たその日の降園前のひととき、クラスみんなに話したいこととして、B君が「風組が喜んでくれてうれしかったです。」と誇らしげに話してくれました。

年長の仲間と力を合わせてがんばって取り組んだことで、年下のクラスの友達が喜んでくれることが「うれしい、楽しい」と感じられることがとても大切な育ちだと感じます。その体験が「よし、次もみんなで作ろう！がんばろう！」という気持ちとなり、新たなチャレンジにつながるのだと思います。このような生活は保育アシスタントのみなさんの支えがあってことだと感謝しています。（高田）



子どもたちに大人気！お母さん方の絵本の読み聞かせ

6月の中旬から、絵本の読み聞かせボランティアが始まっています。子どもたちは毎回読み聞かせボランティアのお母さん方に本を読んでもらうことをとても楽しみにしています。普段担任に読んでもらうときは違い、特別な楽しいひとときになっているのだと思います。「今日はお母さんが絵本を読んでもくれるの？」「どんな絵本を読むのかな？」と目を輝かせて話してくる子どもたちはとっても嬉しそうです。

お母さん方が絵本を読み始めると、子どもたちがどんどん絵本の世界の中に吸い込まれていきます。子どもたちの反応を見ながらにっこりと笑顔になるお母さん方の様子を見てみると、毎回素敵な時間だなと感じます。絵本を読んでもらうのは1日の数分の出来事ですが、子どもたちにとって安心できる大切な時間なのかなと改めて感じました。

幼稚園では絵本の貸し出しも始まりました。図書コーナーでは、図書部さんが子どもたちのために整理整頓をしてくださっています。市からの貸し出しもそうですが『子どもたちにとってよいものを』という思いでたくさんの方々の協力を得て今の図書コーナーがあります。また、今年は図書部さんが年齢にあったおすすめ絵本をPTA掲示板で紹介されています。

ぜひ、幼稚園の図書コーナーやおすすめ絵本の紹介を活用し、いろいろな絵本に興味をもち、たくさんのお絵本と出会えるように…と願っています。



図書部さんからのおすすめ絵本

- ＜花組＞ おぼけのパーババ おぼけのてんぷら
- ＜風組＞ めっきらもっきらどおんどん からすのパンやさん
- ＜星組＞ スイミー どんぐりハリー

※PTA掲示板にはおすすめの本の紹介と図書コーナーのどの場所にあるのか記されています。